

キエーロモニター追跡調査結果（H29 年 7 月）

焼津市ではキエーロのモニター制度を平成 25 年から約 5 年間にわたり実施しています。今回キエーロを引き渡してから 4 カ月以上経つモニターを対象に、追跡のアンケート調査を実施し、そのアンケート結果をまとめました。

●現在もキエーロを使用しているか？

続けている：97 人（79％） 使っていない：26 人（21％）

●キエーロの使用をやめた人で、使用していた期間

～3 カ月	4 ヶ月～ 1 年	1 年～ 1 年半	1 年半～ 2 年	2 年～ 2 年半	2 年半～ 3 年	3 年～ 3 年半
4 人	1 人	0 人	6 人	6 人	3 人	1 人

平均 1 年 9 ヶ月

●1 週間当たりの生ごみ投入量（単位：グラム）

～100	101～500	501～ 1000	1001～ 1500	1501～ 2000	2001～ 5000	5001～
1 人 (1%)	17 人 (17%)	16 人 (16%)	9 人 (9%)	24 人 (24%)	25 人 (25%)	8 人 (8%)

【自由意見及び担当者回答】

- ・作りがしっかりしていて長く使えそう。焼印も可愛らしくてよい。
→焼印は藤枝特別支援学校焼津分校のマークです。キエーロは焼津分校の生徒さんに木材加工の授業の一環で作製してもらっています。
- ・油やよごれた水も投入できるのでよい。
→バクテリアが油を好むため、油を入れると生ごみの分解が早くなります。揚げ物をした後の廃油の処理が無くなり楽になったという感想をよくいただきます。
- ・虫の発生に気を付けている。夏は臭う。
→生ごみを土の中深くに埋めてしっかり土を被せる事で虫や臭いは発生しません。
- ・発酵がうまくいかずカビが生えた。夏場は虫がわいてしまい、思ったよりも難しかった。
→カビの発生や虫がわいてしまう原因として、投入した生ごみが土の中にしっかり埋まっていなかったという事が考えられます。生ごみに黒土をしっかりとかぶせる事を意識してくだ

さい。黒土の量が少なければ補充をしてください。

- ・予想以上に分解が早くて驚いた。思ったより分解しない。

→「分解が早かった」という意見が多かったですが、中には「思っていたより分解しなかった」という意見もありました。500g 程度の生ごみであれば、夏は概ね 1 週間、冬は約 10 日間で分解します。土に埋めるだけではなく、土と生ごみをよく混ぜた方が分解が早くなります。

- ・生ごみから作った肥料で家庭菜園を始めた。

→「キエーロ内の黒土はどのくらい使用したら堆肥として利用できるか？」という質問をよく受けますが明確な基準はありません。長くキエーロを利用している方の体験談で「概ね 3 ヶ月以上継続的に利用した黒土なら良いのではないか」との話を受けたことがあります。キエーロ内の黒土を堆肥として利用する時は、すぐに花壇や畑に入れるのではなく、一度外に出して落ち葉などと混ぜて少し休ませてから使用した方が良いとのこと。

- ・生ごみが多く処理が追いつかなかった。毎日生ごみを投入してすぐ容器がいっぱいになったが、最近は加減がわかりうまく使うことができている。

→生ごみは毎日入れるのではなく、3 日～4 日分ためて 1 次発酵（少し腐らせる）させてからキエーロに投入した方が分解が早くなります。また投入した生ごみは黒土とよく混ぜるようにしてください。

- ・みかんの皮が消えない。

→骨や貝殻、玉ねぎの茶色い外皮など人間が食べられない無機質な物は黒土の中のバクテリアも分解できません。これら無機質な物は燃やすごみとして処理してください。みかんの皮やバナナの皮については、細かく刻むことで時間はかかりますが分解することが出来ます。

- ・出来れば雨の当たらないところに置いたほうが良い。ニス等の防腐剤を塗る必要がある。

→屋根があるので雨が直接入り込むことはありませんが、木製の容器なので長く使用する事を考えたら雨が直接当たらない軒下に置いたほうが良いです。また、腐食を防ぐために、ペンキやニスといった防腐剤を容器に塗布する事をお勧めします。

- ・生ごみは畑に埋めている。

→畑の土より黒土の方がバクテリアが多いので生ごみの分解は早いですが、普段畑に生ごみを埋めていて畑に入れた方が手間が少ないという方については、これまでどおり畑で生ごみ処理をしてもらえれば結構です。各ご家庭に合った方法で生ごみ処理を行ってください。

- ・今は大バケツでやっている。

→バケツに黒土を入れても生ごみは分解します。ただし、保温性が劣るため冬は分解が遅くなります。虫や臭いの発生を防止するため、最後に乾いた黒土で蓋をする事、黒土の量が少ないので生ごみを入れ過ぎないことに注意が必要です。生ごみ投入量の目安は、10ℓのバケツで約 500g（2～3 日分）です。

- ・水が漏れ出るため本体の底部が腐食しないか心配。

→土の水分は中が少し湿っている（握って塊になる）程度が理想です。基本的に生ごみの水切りは不要ですが、容器の底から漏れ出るくらいの大量の水分は入れないようにしてください。

- ・使用方法について、追加情報があれば教えてほしい。

→モニターのアンケート結果の更新など、最新情報を随時 HP に公開していく予定です。

【その他自由意見（抜粋）】

- ・悪臭もなく大変良好。
- ・便利に使っている。
- ・毎日使っていて重宝している。長く使っていきたい。
- ・ずぼらな私でも続いている。
- ・今まで使ったものの中では、最も継続しやすい。
- ・特にメンテナンスの必要がなく簡単なので便利。もっと多くの人に知ってもらいたい。
- ・生ごみの家庭内処理で少しでも役に立てるならありがたい。
- ・生ごみ処分が家庭で出来るのはありがたい。
- ・生ごみが消えるので助かる。
- ・電気式と併用でスムーズに分解できている。
- ・虫の発生がなく、生ごみが処理できよい。
- ・燃やすごみに出す量が減った。
- ・処理能力範囲内で使用している。
- ・キエーロで分解しきれない分を庭に埋める。
- ・雨や風に心配することもない。
- ・思っていたより場所を取らない。
- ・もっと普及してほしい。
- ・においもなく生ごみが分解されて感動。
- ・モニター体験できてよかった。
- ・魚類の処理に使っている。
- ・2 ヶ所に分けて交互に投入。前回入れた生ごみは土と化している。
- ・容器を半分で仕切って 2 週間のサイクルでごみを投入している。
- ・分解できないものも一緒に入れて、後で残ったものを取り出している。

- ・家族が少ないため生ごみの量が少ないが使用している。
- ・網戸用の網を害虫対策にしている。
- ・黒土代と手間と場所が必要。
- ・深く掘る事、土の出し入れが少し大変。
- ・設置場所が台所と離れていたため、だんだん使用しなくなりました。
- ・1回でたくさん入れられないので、畑にも穴を掘って埋めている。
- ・夏は生ごみを取っておけず、毎日捨てたいが、場所が足りない。
- ・もう少し楽だと思っていた。
- ・4人家族では能力不足。コンポスト2台で対応。少人数の家庭なら機能すると思う。
- ・冬場の処理能力不足を感じた。再度冬場にチャレンジしたい。
- ・容器が大きすぎた。もう少し軽いとよい。
- ・生ごみを細かくすること、仕分けることに手間がかかる。
- ・大人数の家庭を対象としたほうがよいと思う。
- ・とぎ汁など汁物を入れてやるとよい。
- ・近所の方に機会があるたびにPRしているが、面倒であるためなかなか広まらない。
- ・生ごみをためるステンレス容器を安く販売してほしい。

【今後の取組みにおける参考となるご意見】

- ・地域でリーダー役になる方を探すこと。
- ・キエーロモニターになった方の生の声を聴くこと。
- ・フォーラムなど意見交換の場がほしい。
- ・キエーロの発明者を呼んで講演してほしい。
- ・各小学校に1台置いて使ってもらってもよいのでは。
- ・もう少し小さなキエーロがあればいいかも。